

「第2期利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略」令和5年度 数値目標・KPI実績報告書

基本目標1 とことん子育て応援”TONE”プロジェクト

(数値目標)

1	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	年間出生数	39人	38人	34人	43人	31人	38人	現状維持	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、健診・相談や経済的支援策など、妊娠・出産から子育て期まで切れ目のない子育て支援事業を実施した。			第2期総合戦略及び第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子どもを産み健やかに子育てできる環境をつくるため、子育て支援事業に取り組む。					
2	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	利根町の子育て環境が良いと思う小中学生の保護者の割合【保護者アンケート】	47.6%	—	—	—	—	34.7%	60.0%	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	次期計画策定に伴い児童・生徒の保護者を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により12.9ポイント減少した。			第2期総合戦略及び第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て世代が暮らしやすい環境づくり等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。					

(1) 子どもの保育・居場所の拡充（重要業績評価指標：KPI）

3	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	全放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	各児童クラブの空き状況に応じて、入級希望者を各児童クラブに振り分けたため、待機児童は発生しなかった。			今後も利用児童数をしっかり把握し、各児童クラブにバランスよく児童を振り分けすることで、待機児童が発生しないように取り組む。					
4	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	病児保育利用登録者数	47人	40人	30人	29人	54人	75人	70人	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	令和3年度に預かり年齢の拡大と料金体系の見直しを図り、令和5年度には、休日を変更し連続利用を可能となるように開室日の拡大を図った。			保護者が仕事をしながら安心して病児を預けられるよう、利用しやすいよう制度に改正していくとともに、周知・啓発活動に努める。					
5	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	保育所待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	各園において、利用定員を超える希望があった場合は、保育士の補充や配置により、受け入れ態勢の整備をしていただき、待機児童が発生しないように取り組んだ。			各園において、利用定員を超える希望があった場合には、受け入れ態勢を整えていただき、待機児童が発生しないように取り組む。					

(2) 子育て世代が暮らしやすい環境づくり（重要業績評価指標：KPI）

6	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	子育て情報集約ページ閲覧数	2,759件	2,930件	2,239件	2,074件	2,601件	2,400件	3,000件	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	町公式ホームページ内の子育て情報集約ページにて、妊娠・出産から子育て期まで切れ目のない子育て支援事業について掲載した。また、子育て支援ガイドブックの情報を更新し窓口配布を行なうことで、子育てに関する様々情報を発信した。			毎年度子育て支援ガイドブックの情報の更新を行うとともに、子育て情報集約ページの掲載情報の充実にも努める。					
7	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	乳幼児健診受診率	93.9%	97.9%	94.3%	97.7%	97.6%	97.4%	97.2%	子育て支援課
	取組実績			今後の取組					
	乳児健診は、町が行う集団健診（1歳6か月児健診、3歳児健診）と医療機関による健診（3～5か月児健診、9～11か月児健診）により実施した。また、未受診者には、電話や相談時の受診勧奨も実施した。			未受診者に対して、個別通知や電話等により受診勧奨に努める。また、医療機関での健診は町内でも受診ができる旨を周知し、すべての乳幼児が健診いただけるよう取り組む。					

(3) 子育て世帯に対する経済的支援の充実（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	空家子育て活用促進奨励金支給件数	0件	0件	1件	0件	0件	0件	3件	生活環境課
	取組実績	今後の取組							
8	町公式ホームページの移住・定住ページに掲載し制度の周知を図った。また、登録物件を増加を図るため、固定資産税納税通知に空き家バンク制度、助成金等のチラシを同封するとともに、適正管理の空き家に対しても、空き家バンク制度、助成金等のパンフレットを送付し、登録物件の増加に取り組んだ。	子育て活用促進奨励金制度の周知に取り組むとともに、登録物件の増加を図ることが重要であることから、管理状態の良い空き家に空き家バンクへの登録を推進する。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	子育て世帯新築助成件数	18件	16件	11件	11件	17件	13件	30件	政策企画課
	取組実績	今後の取組							
9	広報紙や町公式ホームページの移住・定住支援集約ページに掲載の周知のほか、国の交付金を活用し、関東圏域の地域限定により移住定住のWEB広告を掲載し、助成金制度の情報発信を行った。また、WEB広告の動画とリンクしたカタログを作成し、配布に努めた。	助成金制度については、広報紙や町公式ホームページにより周知を図るほか、町の他の移住定住促進施策と合わせ、効果的な情報発信を行い、移住定住促進に取り組む。また、作成したカタログを積極的に配布し利根町のPRに努める。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	理想よりも現在の子どもの数が少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答する住民の割合【住民アンケート】	45.7%	—	—	—	—	55.5%	43.0%以下	政策企画課
	取組実績	今後の取組							
10	次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で、無作為抽出による2,000人を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により9.8ポイント増加した。	第2期総合戦略に基づき、子育て世帯に対する経済的支援の充実等に関連する具体的な施策・事業に取り組む。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	任意予防接種者の割合	68.0%	63.6%	64.2%	59.0%	49.8%	46.4%	75.0%	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
11	町単独で実施しているおたふくかぜ、小児インフルエンザ予防接種の費用助成、同一世帯に中学3年生までのお子さんが3人以上いる世帯のうち、3人目以降のお子さんの予防接種の費用助成額を拡大して実施した。	予防接種事業について、新生児訪問や乳幼児健診、教室等で積極的に周知を図るとともに、継続して費用の助成を実施し、疾病の重症化予防を図り、保護者の経済的負担の軽減に繋げる。							

(4) 地域が丸となって子どもを見守り、育む環境づくり（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	地域子育て支援センター年間利用児童登録率	55.0%	59.6%	48.3%	43.8%	42.9%	57.1%	60.0%	子育て支援課
	取組実績	今後の取組							
12	出生数の減少や就労する保護者が増えていることから未就園児自体が減少しているが、未就園児がいる家庭を対象に、各種活動を通して、子育て世帯への身近な存在として子育て支援を行うため、文間保育園と連携し支援センターを運営した。	地域の子育て支援拠点として、文間保育園と連携し、子育てについての相談、情報の提供、助言を行う窓口として事業を継続して実施していく。また、活動内容を広報とねや役場庁舎内に掲示のほか、窓口での案内や保健福祉センター事業の際に誘うなど、関係機関で連携して周知を図り、利用者増加に努める。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	子どもを守る110番の家登録数	233件	233件	232件	238件	238件	238件	現状維持	学校教育課
	取組実績	今後の取組							
13	子どもを守る110番の家は、各学校から地域住民の方、商店等において活動をしていただき、子供たちの見守り、安全確保が図られた。	各学校から子供たちの見守り、安全確保の重要性を地域住民・保護者・商店等に理解を求め、子どもを守る110番の家の協力者の拡大を図る。							

14	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	児童下校時見守りボランティア数	108人	89人	88人	73人	63人	70人	現状維持	学校教育課
	取組実績			今後の取組					
	下校時見守りボランティアは、児童数の減少に伴い、ボランティア協力者が減少傾向にあるが、地域での通学時の見守りの観点から、小学校が各地区等へお願いして活動をしていただき、登下校時の安全確保が図られた。			小学校統合に伴い、スクールバスでの通学児童が増えたが、バス停から自宅まで等の見守りは必要であるため、学校から各地域へ活動協力依頼をし、現状の体制の維持を図るとともに、防災無線を活用し、子供の安全確保を図る					

基本目標2 学力と心を育む”TONE”プロジェクト
(数値目標)

15	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	不登校児童・生徒数の割合 【不登校で10日以上欠席した児童・生徒数の割合】	小学生 0.47%	0.79%	1.03%	3.01%	3.64%	9.52%	小学生 0.40%以下	指導課
		中学生 3.10%	2.82%	4.55%	6.37%	7.88%	5.95%	中学生 2.80%以下	
	取組実績			今後の取組					
	児童生徒及び保護者との相談・面談の実施を行うとともに、毎月の小中学校生徒指導主事連絡協議会において小中を通した不登校状況の情報共有と個別支援対応の検討、教育相談員やスクールソーシャルワーカーによる相談支援などを行った。			不登校の要因・背景が多様化・複雑化していたり、コロナ後の影響による生活リズムの乱れや人との関わり方への不適応が起きたりしているため、より一層児童生徒の実態の把握に努め、個々の課題を明確にし、個別最適な対応を図るとともに、小中学校での生徒指導体制の強化や専門的な相談員を積極的に活用し、問題解決に向けた適切な対応を図る。					
16	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	授業が分かりやすいと思う児童・生徒の割合 【小中学生アンケート】	小学生 68.8%	—	—	—	—	75.5%	小学生 75.0%	指導課
		中学生 66.6%	—	—	—	—	63.4%	中学生 70.0%	
	取組実績			今後の取組					
	次期計画策定に伴い児童・生徒を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により小学生が6.7ポイント増加し、中学生は3.2ポイント減少した。			第2期総合戦略に基づき、学力向上と豊かな心を育む教育環境の充実等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。					
17	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	子どもの通っている学校に満足している保護者の割合 【保護者アンケート】	小学校 72.8%	—	—	—	—	53.3%	小学校 80.0%	指導課
		中学校 67.2%	—	—	—	—	54.0%	中学校 75.0%	
	取組実績			今後の取組					
	次期計画策定に伴い児童・生徒の保護者を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により、小学生が19.5ポイント、中学生が13.2ポイント、それぞれ減少しました。			第2期総合戦略に基づき、学力向上と豊かな心を育む教育環境の充実等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。					

(1) 町の特性を活かした教育プログラムの提供（重要業績評価指標：KPI）

18	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	毎月第2金曜日に実施する地元食材（県産食材も含む）を使用した給食における地元食材の使用割合	50.9%	57.1%	72.2%	65.4%	75.0%	70.2%	60.0%	学校教育課
	取組実績			今後の取組					
	食材納入業者にも協力していただき、地元農家から納入した食材（米、野菜）及び茨城県産食材を使用した給食を提供した。			地元食材（利根町産食材）の出荷時期に合わせ、少しでも多くの食材を学校給食で提供できるよう農業政策課、地元農家、仕入れ業者と連携を図る。					
19	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	大学と小中学校の交流プログラム数	1件	1件	1件	1件	2件	2件	2件	指導課 生涯学習課
	取組実績			今後の取組					
	小学校4・5年生を対象に、東京藝術大学から美術を専門とした知識・技能を有する学生・卒業生（指導員1名）を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援を行った。また、小学校1年生から6年生を対象に、日本ウェルネススポーツ大学から専門部として、知識・技能を有する学生を依頼し、野球教室を行いました。			近隣大学である東京藝術大学との交流を深め、芸術文化の関心を高められるよう子どもたちが芸術文化をより身近に体験できる機会の提供や日本ウェルネススポーツ大学の協力を得て利根町地域クラブ活動に取り組む。					

(2) 学力向上と豊かな心を育む教育環境の充実（重要業績評価指標：KPI）

20	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	全国学力・学習状況調査のためのテストのうち 算数の結果が県平均を上回っている 児童（小学6年生），生徒（中学3年生）の割合	小学生 63.1%	小学生 49.5%	—	小学生 56.9%	小学生 60.0%	小学生 48.6%	小学生 65.0%	指導課
		中学生 36.1%	中学生 67.4%	—	中学生 59.4%	中学生 55.2%	中学生 53.8%	中学生 50.0%	
	取組実績				今後の取組				
	小学校には6名の算数非常勤講師を配置し、授業時間の支援だけでなく、休み時間等を利用した個別の学習相談に対応した。また、学年が2クラスになったことにより、授業者間で授業の質向上のための研究に取り組んだ。中学校においては、県南教育事務所から数学専門の講師を招聘し、授業改善や教職員のスキルアップのための研修を実施した。				小中学校共に、思考力・判断力・表現力を問われる問題に対する苦手意識が傾向として見られるため、自分の考えを表現する時間を重視した授業展開へ転換できるよう指導助言を続けていく。また、非常勤講師の学年配属を固定化することで、児童の特性を十分に理解した上での個別指導ができるようにするとともに、担任とのチームティーチングがより指導方法の工夫改善に向けた助言をしていく。				
21	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	英語の授業のわかりやすいと思う 児童(小学5，6年生），生徒中学1～3年生）の割合 【小中学生アンケート】	小学生 52.9%	—	—	—	—	67.6%	小学生 63.0%	指導課
		中学生 58.4%	—	—	—	—	47.7%	中学生 65.0%	
	取組実績				今後の取組				
	次期計画策定に伴い児童・生徒を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により小学生が14.7ポイント増加し、中学生は10.7ポイント減少した。				第2期総合戦略の施策に基づき、小中学校へのALTの配置や教育課程特例校の認定を受け、英語を学べる教育環境の充実に取り組む。				
22	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	中学生の英語検定3級以上取得者の割合	24.0%	10.3%	13.0%	15.6%	12.6%	22.5%	40.0%	指導課
	取組実績				今後の取組				
	小中学校へALT3名を配置するとともに、教育課程特例校の認定を受け、小学1年生から英語を学べる環境を作り、英語決定料の一部補助の回数や対象者を小学生まで拡大を図った。また、英語決定に向けて生徒の希望によりALTによる指導を行った。				小学生から英語を学べる教育課程特例校の認定を引き続き受け、小学生から英語を学べる環境を作り、また、英語検定補助事業を継続し受験しやすい環境づくりに取組むとともに、小中学校へのALT3名の配置し、児童生徒の英語力向上に向けALTの十分な活用を進めていく。				

(3) 教育相談体制の充実（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	スクールソーシャルワーカーの相談において、 事案が解決又は収束した割合	80.0%	39.0%	57.0%	65.0%	65.0%	66.2%	90.0%	指導課
	取組実績			今後の取組					
23	児童生徒及び保護者に関する諸課題等の解決に向けた支援・改善を目的に、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の専門的な知識、技能を活用し、ＳＳＷと学校が積極的に連携を図り、児童生徒及び保護者の抱える悩みや問題の解決に取り組んだ。			ＳＳＷの役割を児童生徒及び保護者に周知し、必要としている児童生徒及び保護者が気軽に相談をしやすい体制作りを行う。また、ＳＳＷとの面談が必要だと感じられる児童生徒及び保護者がいる場合に、小中学校のコーディネーターが積極的に児童生徒及び保護者とＳＳＷをつなぐことのできる体制作りに努める。					

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	適応指導教室通級児童生徒の学校復帰の割合	25.0%	11.1%	22.2%	16.7%	66.7%	57.1%	50.0%	指導課
	取組実績			今後の取組					
24	適応指導教室「とねっ子ひろば」を図書館２階に開設し、指導員３名及び指導主事１名の合計４名を配置し、毎日２名体制で不登校児童生徒の支援を行った。具体的には、児童生徒及び保護者との学習相談や面談の実施、また、学級担任や学年主任、生徒指導主事等と情報共有を図り、学校復帰に向けた支援を実施した。			適応指導教室は、不登校児童生徒の学校に代わる重要な居場所であり、教育の機会を確保するための場所であるため、児童生徒の個々の状況や課題をしっかりと明確にした上で、一人一人の児童生徒の実態に合わせた学習指導及び学校復帰に向けた支援や教育相談の充実など、より一層きめ細やかな支援に取り組む。					

基本目標3 健康・福祉で安心”TONE”プロジェクト

(数値目標)

25	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	高齢者や障がい者などへの福祉対策の満足度 【基本計画アンケート】	15.5%	—	—	—	—	14.9%	16.3%	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で、無作為抽出による2,000人を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により0.6ポイント減少した。			第2期総合戦略に基づき、医療・福祉の提供体制の構築等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。					

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
26	町民検診など日常の保健活動の満足度 【基本計画アンケート】	17.7%	—	—	—	—	29.7%	18.5%	政策企画課
	取組実績	今後の取組							
	次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で、無作為抽出による2,000人を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時より12ポイント増加した。	第2期総合戦略に基づき、健康増進・介護予防の推進等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。							

(1) 健康増進・介護予防の推進（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
27	フリフリグッパ体操参加者数 (年間延べ人数)	1,951人	2,053人	538人	657人	1,578人	1427人	2000人	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
	認知症予防対策として実施している運動集会を、新型コロナウイルス感染症対策として、会場の環境整備、参加者の健康管理など、きめ細やかな対策をし、安心・安全を第一として、ボランティアの方と協力して実施した。	認知症予防対策として、参加者がさらに健康的な生活が送れるよう、ボランティアの方と協力して運動集会の継続的な運営を行う。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
28	シルバーリハビリ体操参加者数 (年間延べ人数)	15,145人	11,950人	6,279人	5,505人	9,951人	9,855人	15,500人	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
	新型コロナウイルス感染症対策で会場の環境整備、参加者の健康管理など行い、安心・安全を第一に教室を実施した。また、体操を普及するボランティア（シルバーリハビリ体操指導士）の養成を行った。	新型コロナウイルス感染症対策として、体操の種類を少なめに実施していた部分を、通常の方法に戻すなど、満足度を上げるために、シルバーリハビリ体操の充実を図るとともに、体操を普及するボランティア（シルバーリハビリ体操指導士）の養成を行う。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
29	特定保健指導対象者の指導実施率 (対象者：国民健康保険被保険者)	39.7%	23.4%	35.3%	21.6%	24.0%	15.4%	60.0%	保険年金課
	取組実績	今後の取組							
	健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早期改善・治療の重要性などの通知を同封し、対象者に特定保健指導を参加の促しを行うとともに、参加できなかった対象者にも、電話での案内や再度通知を送るなど啓発を実施した。 ※R5実績はR6.11に確定値が出るため、速報値（R6.5.28時点）での報告	対象者には、引き続き保健指導の重要性の周知は行い、今後は、受診勧奨や保健指導体制の強化を図るため、特定保健指導を専門業者に外部委託し、受診率の向上に取り組む。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
30-1	がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者：国民健康保険被保険者) 大腸がん	12.1%	12.0%	12.7%	13.7%	12.7%	13.5%	15.0%	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
	がん検診とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容器を送付するなどの受診しやすい環境整備を行った。また、令和5年度は、受診勧奨の対象者を国民健康保険被保険者の方から55歳以上の全町民へと拡大し、受診勧奨通知により個別の受診勧奨を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策も考慮して安全に受診できる環境整備をしながら、引き続き受診勧奨を行い、受診機会や体制を検討し受診率向上に努める。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
30-2	がん検診推進事業対象者の受診率 (対象者：国民健康保険被保険者) 乳がん	10.2%	12.6%	11.0%	7.0%	5.0%	6.7%	17.0%	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
	個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団検診としてはレディース検診（子宮がん・乳がん同日で検診）を実施した。また、前年度受診歴のある方への受診券の送付や41歳の方への無料受診券の発行を行った。	新型コロナウイルス感染症対策も考慮して安全に受診できる環境整備をしながら、引き続き受診勧奨を行い、受診率の向上に取り組む。							

(2) 安心できる医療・福祉の提供体制の構築（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
31	かかりつけ医を決めている人の割合 (対象：40歳以上64歳以下) 【健康づくり計画アンケート】	48.6%	—	—	—	—	—	58.6%	保健福祉センター
	取組実績	今後の取組							
	次期計画策定時である令和6年度に実施するため未実施								

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	高齢者の悩み相談できる相手がいない割合 【介護保険計画アンケート】	31.1%	—	37.2%	—	—	38.5%	29.0%以下	福祉課
	取組実績	今後の取組							
32	利根町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に伴い、町内在住で要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方を対象に無作為で700人にアンケート調査を実施した結果、家族や友人・知人以外で、相談できる相手がいない割合が前期計画時により7.4ポイント増加した。	高齢者が知人・友人以外に悩みを相談できる相手がいない方が多く、悩みを一人で抱え込んでしまうことのないよう、相談窓口の周知や相談しやすい体制を構築していく必要がある。民生委員と連携して、悩みを持つ高齢者に適切なサービスや支援に繋げるだけでなく、その後の状況を把握しフォローアップを実施していく。							

基本目標4 住むなら”TONE”プロジェクト
(数値目標)

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	社会増減数	△6人	△52人	△110人	△99人	65人	202人	0人	住民課
	取組実績	今後の取組							
33	第2期総合戦略に基づき具体的な施策・事業を実施するとともに、シティブロモーション活動の充実を図った。日本ウェルネススポーツ大学の留学生の受け入れにより大幅に増加となった。	第2期総合戦略の施策に基づき、具体的な事業を実施するとともに、移住・定住に繋がるシティブロモーション活動の充実を図る。							
	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	今後利根町に住み続けたいと思う住民の割合 【住民アンケート調査】	61.5%	—	—	—	—	64.9%	65.0%	政策企画課
	取組実績	今後の取組							
34	次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で、無作為抽出による2,000人を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により3.4ポイント増加した。	第2期総合戦略に基づき、子育て支援・教育環境・定住促進等の施策に関連する具体的な事業に取り組む。							

(1) 利根町シティブロモーションの推進（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	町公式インスタグラムフォロワー数	800人	1,100人	1,167人	1,266人	1,479人	1,695人	2,000人	まち未来創造課
	取組実績	今後の取組							
35	近年のインスタグラムのショート動画（リール動画）の流行を受け、令和5年度から従来の写真の投稿に加え、リール動画の投稿本数を増やすことによって、フォロワーの増加を図った。	時代の流行に注目しながら、インスタグラムを活用し、効果的な周知活動にてフォロワー数の増加を目指す。また、SNSの効果的な活用方法について、スキルアップ研修等を通して他課の職員に周知し、全庁的に情報発信に対する意識を高めるよう取り組む。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	とね元気塾ワークショップ参加者数	190人	—	—	—	—	—	300人	まち未来創造課
	取組実績	今後の取組							
36	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の集合型のワークショップは中止した。令和5年度は利根小学校の授業の一環として、子どもたちにお花を作成していただき、花みこしを作成した。子どもたちが利根小学校への思いを花びらに書き込んで、大きな桜の木のパネルに貼り付けた。	一度に多くの人が集まる集合型ワークショップだけでなく、さまざまな開催方法を検討し、子どもや若者が町に愛着を持てる内容のワークショップを開催する。							
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	「利根町やその周辺の歴史講座」受講者数	55人	55人	47人	38人	42人	45人	80人	生涯学習課
	取組実績	今後の取組							
37	歴史講座を2講座、それぞれ9回ずつ開催し、利根町ゆかりの歴史を学ぶ機会を提供した。また、町ウォーキング大会において、柳田國男記念公苑をコースに設定するなど、地域の歴史や文化財に触れる機会を提供した。	様々な広報媒体を利用し住民への周知を図るとともに、講師を入れ替えるなど、講座の内容について常に興味を持たせるものとなるよう改善に努める。							

(2) 定住・空き家活用の促進（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	空き家・空き地登録件数（累計）	111件	157件	172件	185件	187件	200件	220件	生活環境課
	取組実績	今後の取組							
38	固定資産税納税通知にバンク登録チラシの同封やおくやみ窓口にて、バンク制度の周知を行った。	空き家調査による、登録可能物件の掘り起こしと、所有者へのバンク登録のアプローチに努める。また、引き続きチラシの同封やおくやみ窓口等での周知により登録件数の増加を図る。							

39	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	空き家・空き地成約件数（累計）	58件	67件	69件	74件	75件	78件	110件	生活環境課
	取組実績			今後の取組					
	町公式ホームページ、全国版空き家・空き地バンクサイトにて物件の情報提供を行った。			空き家・空き地バンク成約に伴う要件の見直しの検討と、助成金制度を町公式ホームページや広報紙等の周知により成約件数の増加を図る。					
40	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	新築マイホーム取得助成金支給件数	37件	41件	21件	24件	19件	27件	47件	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	新築マイホーム取得助成金として、町内に住宅を新築、建て替え、または建売住宅を購入した者に対し新築マイホーム取得助成金を交付した。また、子育て世帯及びテレワークを行う世帯に対しては助成金の上乗せを行った。			助成金制度について、引き続き広報紙や町公式ホームページにより周知を図り、新たに庁舎内のラック等にチラシを設置する。また、町の他の移住定住促進施策と合わせ、作成した移住カタログの配布に努め、効果的な情報発信を行い、移住定住の促進を図る。					
41	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	移住促進施策を通じた移住者数	—	—	30人	47人	45人	41人	60人	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	広報紙や町公式ホームページの移住・定住支援集約ページに掲載したほかに、国の交付金を活用し、関東圏域の地域限定により移住定住のWEB広告を掲載し、助成金制度の情報発信を行った。また、WEB広告の動画とリンクしたカタログを作成し、移住定住イベントや各利根町のPRとなるイベントにて配布を行った。			移住を検討している方向けのカタログを作成したので、ふるさと回帰センターにカタログの設置や町のPRになるイベントでの配布に加え、移住者向けイベントへの積極的なブース出店に取り組む。また、結婚新生活支援事業を通じて、移住者への支援の強化を図っていく。					

（３）若者の出会い・結婚支援（重要業績評価指標：KPI）

42	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	利根町いばらき出会いサポートセンター入会登録料助成件数				—	4件	2件	10件	まち未来創造課
	取組実績			今後の取組					
	助成制度について広報紙や町公式ホームページで周知し、いばらき出会いサポートセンターによる出張登録会を実施した。			広報紙や町公式ホームページでの周知を実施し、いばらき出会いサポートセンターによる出張登録会の際に受付で周知活動を行う。					

基本目標5 働くを応援する”TONE”プロジェクト

（数値目標）

43	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	農業の法人経営数	3件	3件	3件	3件	3件	3件	6件	農業政策課
	取組実績			今後の取組					
	大規模経営を目指す農家に対して、法人化に関する案内を行ったが、法人化はなかった。			利根西部基盤整備事業及び利根南部基盤整備事業の実施により、大区画化されたほ場が増加することから、大規模経営を行う農家の増加が予想される。そのような経営規模の拡大を図る農家に対し、講座等の案内や法人化に関する研修を実施する。					

（１）農業の生産・経営基盤の強化（重要業績評価指標：KPI）

44	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	認定農業者数	27人	26人	28人	29人	33人	33人	35人	農業政策課
	取組実績			今後の取組					
	利根町がんばる農業者応援助成制度やその他の認定農業者制度の優遇措置等の周知等を行った。			農業経営改善計画書の作成指導や認定農業者制度の優遇措置の周知等を行うとともに、利根西部基盤整備事業及び利根南部基盤整備事業の経過により、農地集積を推進し、新たな認定農業者の確保を図る。					

45	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	がんばる農業者応援助成件数	4件	4件	0件	5件	1件	3件	4件	農業政策課
	取組実績			今後の取組					
	農業経営を行っている農家や農業法人等による、農産物の生産性向上に向けた新規作物の導入経費、栽培方法の改善、農産物加工施設、直売施設等に係る経費の一部を補助した。			人、農地プランに位置付けられた中心経営体に対し、がんばる農業者応援助成制度を活用し、新規作物の導入や経営規模拡大に必要な農業用機械や設備の導入費用の一部助成を実施する。					
46	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	うめえもん認定件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	農業政策課
	取組実績			今後の取組					
	4つの団体が利根町のブランド米作りのため栽培方法の改善に取り組んでいるが測定機による食味値の測定により認定に至らなかった。			今後は安定的に高い食味値を達成できるよう食味値検査の分析結果をもとに、高い食味値を出せる要因を探りながら、栽培方法を改善し栽培記録を作成していただき、よりよい栽培方法に取り組んでいただくため、引き続きがんばる農業者応援補助金により費用の一部を助成する。					
47	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	6次産業商品化件数	1件	1件	1件	1件	1件	0件	2件	農業政策課
	取組実績			今後の取組					
	利根町の基幹作物であるお米を使用した炊飯米パックの継続販売や令和5年度に販売開始した日本酒・ライスチップスを作成・販売を行い、農業の6次産業化への取組支援に向けて取り組んだ。			利根町の基幹作物であるお米を使用した炊飯米パック・日本酒・ライスチップスの販売、日本酒・ライスチップスの販売を継続して行うなど、地産地消推進協議会と協力して商品化へ取組やPRを実施する。					

（２）中小企業の活性化（重要業績評価指標：KPI）

48	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	先端設備等導入件数	2件	3件	2件	3件	3件	0件	5件	まち未来創造課
	取組実績			今後の取組					
	制度の概要及び申請方法について、町公式ホームページなどで周知に努めたが、物価や原材料費の高騰の影響もあり、新たに設備を導入し、認定の申請をする事業者はいなかった。			町公式ホームページや広報とね等で制度を周知し、中小企業者等の振興及び生産性の向上を図る。					

（３）町内商店・商店街の活性化（重要業績評価指標：KPI）

49	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	空き店舗成約件数	—	—	—	0件	1件	2件	5件	まち未来創造課
	取組実績			今後の取組					
	バンク制度や助成制度の内容を町公式ホームページで周知を図った。また店舗の所有者に通知を発送したほか、直接訪問し物件登録の交渉をするなど、空き店舗バンクの物件登録の確保に努めた。			今後は、利根町商工会と連携し、空き店舗バンクの登録物件数を増やしていくほか、町内の空き店舗等を活用して創業する場合の改修費用や家賃、創業期経費等の費用の一部補助等、創業時の負担を軽減し、町内での創業に向けた支援を図っていく。					

（４）働く人材の募集活動（重要業績評価指標：KPI）

50	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	ホームページの「はたらく情報」に関するWebサイト閲覧数	—	2,020件	4,653件	4,734件	4,032件	1,952件	4,885件	まち未来創造課
	取組実績			今後の取組					
	ハローワークと連携した雇用対策として、町公式ホームページで最新（毎週）の求人情報を掲載のほか、チラシの設置などを通じて雇用やセミナー等の情報発信を行い、雇用対策の充実を図った。			今後もハローワークと連携し、町公式ホームページで求人情報を掲載するほか、チラシを設置し、町の産業や企業に関する雇用について情報を発信していく。					

基本目標6 地域で生活を守る”TONE”プロジェクト

(数値目標)

	数値目標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
51	現在の困りごと・不安ごとで 「あなた自身の通勤・通学が不便」と回答した住民の割合 【住民アンケート】	25.3%	—	—	—	—	24.7%	23.0%以下	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	次期計画策定に伴い満16歳以上の町民で、無作為抽出による2,000人を対象にアンケートを実施した結果、前期計画時により0.6ポイント減少した。			第2期総合戦略及び新たに策定する地域公共交通計画の施策に基づき、地域公共交通手段の充実を図っていく。					

(1) 地域公共交通手段の確保（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	ふれ愛タクシー利用者数	6,911人	7,349人	6,362人	8,047人	7,818人	8,701人	7,450人	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
52	タクシー３台により町内全域の運行と龍ヶ崎市の竜ヶ崎駅、済生会病院、取手市のJAとりで総合医療センターへ乗入れを行っているが、令和４年７月から開始したJAとりで総合医療センターの利用者が増加している。また、町の公共交通をまとめたガイドマップを改訂しタクシー内や公共施設に設置したことで、住民への周知を行った。			利用方法について町公式ホームページ、広報紙などを通じて周知を図るとともに、利用者アンケートを定期的実施することにより課題や要望を把握し利便性の向上に努める。					
	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	福祉バス利用者数	10,052人	10,678人	7,315人	6,919人	7,009人	7,655人	11,000人	保健福祉センター
	取組実績			今後の取組					
53	町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くに設けた停留所を２台の車両で、２つのコースを設定し循環運行した。また、停留所には、大利根交通の北方車庫もあり、路線バスへの接続が可能となっており、町の公共交通をまとめたガイドマップや近隣自治体のコミュニティバスの時刻表を福祉バス内や公共施設へ設置し、住民への周知を行った。			利用方法について町公式ホームページ、広報紙、こころの健康づくりカレンダーなどを通じて周知を図るとともに、要望等により利便性の向上に努める。					

(2) 地域コミュニティの活性化（重要業績評価指標：KPI）

	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
54	住民協働事業実施件数（累計）	7件	8件	9件	12件	16件	20件	17件	政策企画課
	取組実績			今後の取組					
	住民団体が企画し、実施する4件の公益性のあるまちづくり事業に要する経費の一部に対し、補助金を交付した。			住民協働事業の町公式ホームページ、広報紙などで周知を行い、新規提案事業の増加につなげていき、町内の住民活動及び協働のまちづくりの推進を図る。					

(3) 地域の防災力の向上（重要業績評価指標：KPI）

55	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	町補助金を活用し防災士資格を取得した者を有する地区の割合（累計）	30.5%	30.5%	30.5%	30.5%	38.8%	38.8%	100.0%	防災危機管理課
	取組実績			今後の取組					
町補助金を活用した資格取得者は増えているが、新たな取得者は、既に補助金を活用している地区からの取得者であった。				区長会総会及び資格取得者がいない区長へ直接説明を行い、防災士の資格取得に関する補助制度についても説明を行い、防災士が中心となって防災活動していただけるよう周知する。					
56	重要業績評価指標（KPI）	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
	補助金交付を受けた自主防災組織数（累計）					—	16地区	36地区	防災危機管理課
	取組実績			今後の取組					
区で組織する自主防災組織による防災訓練等の活動費用の一部を補助し、地域防災力の向上に向けて支援した。				各地区の自主防災組織の代表者などに直接訪問し、補助金を活用し防災訓練等の活動をしていただくよう、周知を行っていく。					